

令和3年度 鳥取市市民まちづくり提案事業【協働事業部門(行政提案型事業)】 事業実績一覧

No	団体名	事業概要	協働による効果	課題に対する成果	市助成金(円)	その他特筆すべき事項
	事業名				事業費(円)	
1	福部町浜湯山・多鯉ヶ池 活性化委員会	<p>【目的】 福部町「浜湯山地域」と「駅前・細川地域」の江戸時代後期の水田耕作は「取水の苦労」と道路網がなく「水運」に頼った耕作方法であった。現在も浜湯山地域に残っている江戸時代からの歴史遺産ともいえる「川戸」で地域の子どもたちに足踏み式水車体験と川船運搬体験を体験させ、当時の生活がいかに大変であったかを体験させることで地域に対する愛着を醸成することを目的とする。 自分たちの住む地域がどのようにして発展してきたか体験することで地域愛を育み、福部地域、鳥取砂丘・多鯉ヶ池をはじめとする山陰海岸ジオパークの持続可能な普及活動のきっかけとする。</p>	<p>普段子どもたちと交流の少ない地域団体(浜湯山・多鯉ヶ池活性化委員会、市観光・ジオパーク推進課)がともに「福部町江戸時代の農業体験」事業を推進することで官民一体の活動交流が図られ、ジオパークへの認識と理解が高まり、将来を担う子どもたちの地域愛が醸成される。</p>	<p>課題: 地域主体のボトムアップでつながる山陰海岸ジオパーク事業</p> <p>成果: 今回の活動(官・学・民)を契機に福部未来学園では、新たな取り組みとして「福部未来科」授業カリキュラムを設けて、福部歴史を間近に経験することが本来の「福部未来科」の活動テーマであることを子供たちに伝えることが出来た。 加えて一昨年と昨年の市民まちづくり提案事業・農業体験の集大成として福部町民の前でGEO寸劇を披露したことで児童達は達成感を味わったと感じた。</p>	333,000	<p>委員会が目標としている「地域創生の原動力は、地域への愛着や地元愛の強さが原動力となる」が今回の活動で契機になることを強く感じた。 特にコロナ感染拡大で昨年実施出来なかった「GEO寸劇」も児童の独自の演出もあり、町民に市民まちづくり事業が大いにアピール出来た。</p>
	福部町江戸時代から昭和初期の農業体験	<p>【内容】 1 実施期間 令和3年8月～令和4年1月30日 2 対象者 福部未来学園生徒5年生(20名)、同学園教師(5名) 3 概要 ・5年生が3グループに分かれ体験「足踏み式揚水車体験」、「唐箕体験」、「千歯こき体験」 ・12月の文化祭で体験発表 ・12月4日5年生による「GEO寸劇披露」</p>			333,786	
2	特定非営利活動法人 学生人材バンク	<p>【目的】 鳥取市役所の各部署における課題解決をNPO等と協働して行うための認識や情報共有を目的とする。 本事業の効果として、鳥取市が直面する地域課題に対して、ノウハウやつながりのあるNPO等が関わることで協働の実例が増えること、また、各担当課において予算立案段階からNPOとの協働が検討されていくことが期待される。</p>	<p>鳥取市との協働により、過去の協働の取組事例を情報提供をいただくことで、具体的な取組み方を見ることができた。</p>	<p>課題: 協働のまちづくりを推進する民間視点の仕組みづくり</p> <p>成果: 鳥取市から情報提供のあった協働事例をもとに、調査・分析を実施し、その結果と傾向を整理した。</p> <p>課題: NPO交流会の実施ができなかったため、NPOと各部署の協働を具体的に連携させることは未達成となった。調査結果と傾向をふまえ、市役所内の研修等での活用や、NPO側への事例周知により、協働のやり方について理解を深めてもらうことで一歩が踏めると感じた。</p>	0	<p>大学生スタッフの調査については本予算を活用しない形で実施し、会場を使う交流会についても実施ができなかったため、執行予算は0円となっている。</p>
	NPO等と鳥取市役所の 協働シーン倍増プロジェクト	<p>【内容】 A: NPO事例調査 (1) 市役所協働事例の読込及び分類 ①実施日: 令和3年12月20日～令和4年1月20日 ②参加人数: 2名(大学スタッフ・NPOスタッフ) ③概要: 各自で分担作業、オンラインで集約 →集約データをもとにNPOスタッフが分析を実施 (2) 全国の協働事例調査 ①実施日: 令和4年1月20日～2月28日 ②参加人数: 2名(大学スタッフ・NPOスタッフ) ③概要: 各自で分担作業、オンラインで集約 →集約データをもとにNPOスタッフが分析を実施 B: NPO交流会 コロナ禍のため実施なし</p>			0	